

令和八年度

入学者選抜学力試験問題

国語

受 験 番 号

注意 答えは、すべて解答用紙に記入しなさい。
句読点や記号は、一字として数えなさい。
問題作成の都合上、本文を一部改変しました。
4ページは白紙です。

【一】 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

SNS自体の持つ基本的な機能や仕組みを使えば、ビジネス上のチャンスを得たり、知り合いの人と知り合うことができます。

「弱い紐帯の強み(The strength of weak ties)」を^{注1}存知でしょうか。米国の社会学者マーク・グラノヴェッターが一九七三年に発表した、社会的ネットワークに関する仮説です。

グラノヴェッターによれば、新規性が高く価値ある情報は、家族や友人、職場の同僚などの社会的つながりが強い人々(強い紐帯)からはもたらされず、むしろ友達や知り合いの知り合い程度の社会的つながりの弱い人々(弱い紐帯)からもたらされることが多いという考え方です。これが開発やイノベーションなどの革新的な行動に必須だということです。

考えれば当たり前のことなのですが、家族や友人、職場の同僚などとは、環境や生活、価値観などが近いことが多く、情報が入ってくる場所も同じことが多いものです。それゆえ、自分が持っている情報とあまり変わらない情報しか持っていないことが多いのです。

そもそも新規性が高く価値ある情報を得ていたら、あなたがそのような情報を求めていることは熟知しているので、すぐに共有していたはずですが、共有してこないということは、少なくとも、新しい価値ある情報は持っていないのです。

A、友達や知り合いの知り合い程度の社会的つながりの弱い人々は、自分とは環境や生活、価値観などが異なり、情報が入ってくる場所も異なります。**B**、自分にとっては新しく価値ある情報をもたらしてくれる可能性が高くなるということです。〔1〕

そして、SNSこそこのような弱い紐帯の力を活かすために最適だということです。私も過去に何度かこの仮説の通りの体験をしました。必死に求め続けた情報、自分にとって本当に価値ある情報をもたらしてくれたのは、**X** 友達の友達、それほどよく知らない人からその貴重な情報が得られた時、あまりにあっけなく飛び込んできたことで啞然^{あぜん}としてしまうほどでした。

C、著書を出すきっかけをくれたのも友達の友達だったし、テレビ出演のきっかけも知り合いの知り合いから飛び込んできました。〔2〕

弱い紐帯の強みを活かすには、自分のやりたいこと、望む情報をオープンにしておくことが大切です。そして、新しい出会いや交友関係にもオープンでいることで、望んだチャンスや情報が飛び込んできやすくなるでしょう。

D、「六次の隔たり」という仮説もあります。すべての人や物事は六ステップ以内でつながっており、「友達の友達の友達……」とたどっていくと世界中の人とつながることができるという考え方です。

米国の社会心理学者スタンレー・ミルグラムが一九六七年に行った、「スモールワールド実験」³によって検証されました。

アメリカ合衆国国民からさまざまな境遇の被験者を選び、ある人物に手紙を渡すように指示しました。その人を知っているような、最終的にその人につながるような人を選んで送ることで、目的の人物に渡すという実験でした。この実験により、お互いは平均すると六人の知り合いを介してつながっていることがわかったのです。そこから、「六次の隔たり」という考えは生まれました。〔3〕

SNSでは交友関係が可視化^{注3}できるため、自分がつながりたい相手と共通の知り合いを見つけることは難しくありません。共通の知り合いに紹介をお願いすれば、すぐにでもつながることができます。

あるいは、自分がつながりたい相手が行くイベントやパーティなどに参加して、その場にいる共通の知り合いに声をかけて紹介してもらえば、その場ですぐに面識を得ることもできるのです。

イベントやパーティなどによつては、参加予定者がSNS上で確認できることがあります。あらかじめメンバーがわかるので、参加すべき会が見つけやすくなっています。私もSNSのこの機能を使って、知り合いになりたい人が来るイベントやパーティなどに積極的に参加して、知り合いになれたことが何度もあります。〔4〕

チャンスは自分の行動次第で得ることができます。駄目^{だめ}で元々、せつかくあるSNSを活用して、トライしてみればいいのです。

（高橋 暁子『若者はLINEに「。」をつけない 大人のためのSNS講義』）

注1 紐帯 社会の構成員を結びつけている条件。血縁、利害関係など。

注2 イノベーション 経済発展の起動力となる技術革新。

注3 可視化 目に見えないものを見える状態にすること。

問1 空欄A～Dに入る語を、次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア それゆえ イ たとえば ウ また エ ところが オ ただし

問2 〜〜〜線部「職場」と同じ重箱読みの熟語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 荷物 イ 手本 ウ 居間 エ 台所 オ 哲学

問3 〜〜〜線部1「新規性が高く……もたらされることが多い」とあるが、そのような結果が生

じるのはなぜですか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 開発やイノベーションなどの革新的な活動に必須なのは、それまでの常識にとらわれない柔軟な発想だから。

イ 社会的つながりの強い人々とは、環境や生活、価値観などが近いことが多く、安心して情報を共有することができるから。

ウ 家族や友人、職場の同僚などからもたらされる情報は、自分の扱っている情報と変わらないため、独創性を発揮させるしなくなるから。

エ 価値ある情報は共有されない傾向が強いため、情報を求めていることを常にアピールしておく必要があるから。

オ 社会的つながりの弱い人々は情報源が異なることが多く、価値ある情報をもたらししてくれる可能性が高いから。

問4 〜〜〜線部2「弱い紐帯の力を活かすため」に大切なことは何だと述べられていますか。本文中から二十六字で抜き出さない。

問5 空欄Xに入る一文として、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 家族や友人、職場の同僚など、社会的なつながりが強い人でした。
- イ 親しい人ではなく、普段それほど関わりがない人や、ほとんど交流がない人でした。
- ウ 社会的つながりの強い人々で、かつ日頃からSNSを使用する頻度が高い人でした。
- エ 社会的つながりは弱い、自分とは環境や生活、価値観などは同じ人でした。

問6 ———線部3「スモールワールド実験」によってわかったことは何ですか。本文中から二十文字以上三十字以内で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問7 ———線部4「SNSを活用して、トライしてみればいいのです。」とあるが、SNSを活用する事例として本文にはどのようなことが挙げられていますか。「機能」という語を使って五十文字以上六十文字以内で答えなさい。

問8 本文には次の一文が抜けています。この一文が入る最も適当な箇所を、本文の〔1〕〔4〕から選び、番号で答えなさい。

これはSNSというサービスの素地となる考え方です。

問9 本文に述べられている内容として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 新規性が高い情報は、家族や友人から得られることが多いが、社会的つながりの弱い人にもたらしてくれる可能性も高い。
- イ SNS上のつながりにおいて、弱い紐帯の重要性が高まっているが、同時にその危険性についても警告している。
- ウ 強い紐帯においては、所属するメンバーの価値観が近く、互いを熟知していることが強い信頼関係を構築している。
- エ SNSを効果的に利用し、新たなつながりを築く努力をすることで、価値ある情報を得ることもできる。
- オ 「六次の隔たり」という仮説が示すとおり、自分の望んだ情報は必ず六ステップでのつながりに存在している。

このページは白紙です

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①人間は感情の生き物です。日常生活や仕事での人間関係を営んだり、買い物をしたり、けんかをしたり、恋愛をしたりする上で感情というのは動物以上にはるかにゆたかなものを持っています。^{ほにゅうるい}哺乳類以外ではあまり感情そのものが見られませんし、犬や猫等の哺乳類でも、「怒」は頻繁に見られますが、「喜」も珍しく（犬がしつぽを振る等）、特に「哀」や「楽」に関してはほとんど見られることはありません。

かたや、集団生活には論理というものも欠かせません。論理の産物の代名詞と言えば数学や物理学ですが、こうした考え方が科学技術を飛躍的に発展させてきました。具体的には電気製品や、社会のインフラにその成果は表れています。また一方、法律や交通ルール、あるいは会社の規則というものも論理的に構成されています。

ところが問題は、時にこれらに¹矛盾があること²です。日々の生活において問題を引き起こすかなりの部分が、この「論理と感情のギャップ」に基づいていると言ってもいいかも知れません。次ページの図を見て下さい。

まず上の図ですが、論理と感情には同じように当てはまるところ①と、片方ずつしか当てはまらないところ②と③、その全体の外側には両方とも当てはまらないところ④という四つの領域があるということです。

これらのうち、下の図でグレーにしている「左上」と「右下」は、論理で判断しても感情で判断しても同じ結論が出てくるわけですから、あまり問題にはなりません。問題なのは「左下」つまり論理的には正しい（理解できる）が感情的に正しくない（理解できない）という領域と、「右上」つまり感情的には正しい（理解できる）が論理的に正しくない（理解できない）という領域です。

ここに、論理と感情のギャップが存在するというわけです。

では、なぜこのようなギャップが存在するのでしょうか？

それは、論理と感情を基にした判断では根本的に異なっていることがあるからです。まず論理的であるとは、「誰が聞いても話がつながっている」ということです。つまり必ず客観性が求められます。

逆に「感情的である」というのは、「必ずしも万人にとってつながっていないでもいい」、つまり必ずしも客観的ではない主観の領域ということになります。こうした主観と客観が常に一致していればいいのですが、時に矛盾するためにこの図のようなギャップが生まれます。

図の「右上」の領域というのは、「気分次第のA」では認められるが、誰にもわかるような「B性」がないという領域になります。例えば、どういう状況でこういうことが起きるのでしょうか？

感情的に判断することの代表例として、ものごとを「好き嫌い」で決めることが挙げられます。好き嫌いというのは、当然人によって異なるC的なものです。「好きだからこれに決めた」というのは、個人の選択としては当然のものです。が、集団や組織の中では必ずしも通用する「論理」ではありません。⁴「好き嫌いで仕事をするな」というのは組織の中でよく聞かれる言葉です。個人の好き嫌いだけで物事を決められては、集団の秩序が保てなくなるからです。

好き嫌いがはつきりする状況というのは、特定の「人」に対してです。例えば、会社の中で「好きな」あの人が言うなら信用して彼の案を採用しよう」というのは、感情的な面では納得できても、これは論理的な意思決定とは言えません。したがって、「あの人の発言」のどこがどう良いのかを客観的な数字やデータで示す必要があります。

ところがこれは個人のレベルでは全く問題なく、むしろ人が物を買うときには「あの人が薦めていたから」、あるいは「好きなタレントがCMに出ていたから」ということが、十分な購買理由になり得ます。

逆に「論理的に正しいが、感情面で納得できない」というのが、図の「左下」の領域です。例えば、嫌いな人に正論を吐かれても受け入れられないといった状況が考えられます。⁵「坊主憎けりや袈裟ま^{注1}でも……」というわけです。

さらにわかりやすい例を言えば、「機嫌が良いときには何にでもYes」だが、「機嫌が悪いときは何を頼まれてもNo」といった気分屋の判断も、客観的に説明できない意思決定の例と言えます。このような人が集団にいますと、「右上」と「左下」の事象が頻発することになります。

²このようなメカニズムによって、組織の活動等で「正しい意思決定をしたのに人が動かない」という事態が頻発します。「人が動く」には個人が感情面で納得することが必須条件になるのに、「正しい」意思決定とは、通常「論理的に正しい」ことを意味しているに過ぎないからです。

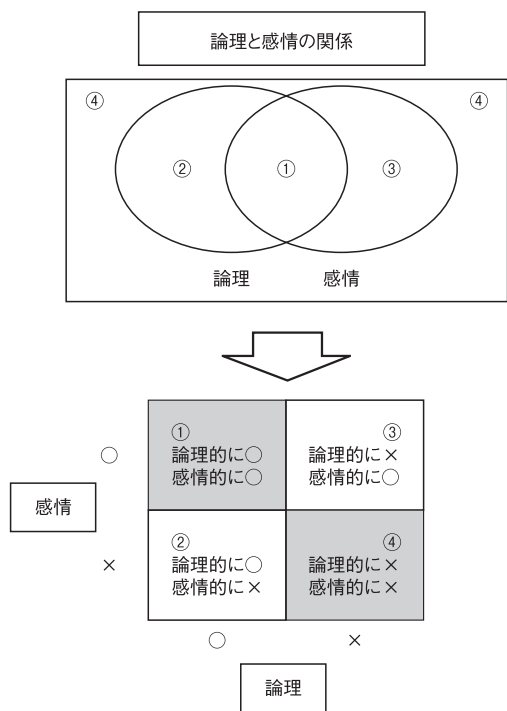
したがって、何らかの集団をうまくコントロールしていくためには、この「二つの領域」をうまく扱うことがキープポイントということになります。

「左下」の領域というのは、例えば大きな組織改革をするときに問題となります。会社統合の後に二つの会社のやり方を統一しようとするときなどは、「相手の会社のやり方に合わせる」というのは理屈の上で正しくても、感情面では素直に従いたくないものですから、こうした「⁸反対派」を説得する場合には、あまりに論理を振りかざすのは逆効果になります。^{注2}

逆に「右上」の領域に関しては、個人へ訴求する商品開発の意思決定をする場面では、必ずしも理詰めで検討した商品がヒットするとは限りませんから、「集団の意思決定」をする場合でも、最後は感情が支配するという現実を踏まえた上での決定が必要になるでしょう。

³「集団の意思決定やルール作りは論理に基づく必要があるが、個人を動かすのは感情や心理である」という基本的原則が、ときに様々な矛盾を引き起こします。これを十分に踏まえて行動する⁹のが、特に組織で動く際に注意すべきことになるでしょう。

図



（細谷 功『やわらかい頭の作り方——身の回りの見えない構造を解明する』）

注1 袈裟 僧衣の一つ。左肩から右脇下にかけて衣をおおう。

注2 訴求 広告・宣伝などで、買ってもらえるように消費者に働きかけること。

問 1 ― 線部 1 「これら」が指しているものを、本文中から五字で抜き出しなさい。

問 2 ― 線部 2 「矛盾がある」とあるが、「矛盾」を引き起こす原因は何ですか。その原因にあたる部分を、2段落以降の本文中から五十三字で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問 3 ― 線部 3 「論理的には正しい……という領域」とあるが、このような領域が生じるのはなぜですか。その理由にあたる部分を本文中から三十一字で抜き出し、最初と最後の五字で答えなさい。

問 4 空欄 A ～ C に「主観」「客観」のいずれかを入れなさい。

問 5 ― 線部 4 「必ずしも通用する『論理』ではありません。」とあるが、それはなぜですか。その理由にあたる一文を本文中から抜き出し、最初の五字で答えなさい。

問 6 ― 線部 5 「坊主」、―― 線部 6 「袈裟」はそれぞれ何を指していますか。本文中から抜き出しなさい。

問 7 ― 線部 7 『右上』と『左下』の事象が頻発する」とあるが、「右上」と「左下」に当てはまるものをそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。
ア 好きなタレントが CM に出ていたから商品を買う。
イ 理屈で判断しても気分で判断しても同じ結論が出てくる。
ウ 嫌いな人にもっともな意見を吐かれても納得できない。

問 8 ― 線部 8 「反対派」とは具体的にどのような考えの人のことですか。解答欄に合うように、三十字以上三十五字以内で説明しなさい。

問 9 ― 線部 9 「の」と同じ用法の「の」を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 盆には先祖の墓を参るの|が日本の風習だ。
イ 私|の学校では全校で合唱に取り組む。
ウ 風の強い日は気分が重くなってしまう。
エ こんなに遅い時間までどこへ行っていたの|。

【三】 次の――線部の漢字の部分はひらがなに、カタカナの部分は漢字に直して書きなさい。

① 重要な書類に押印する。

② 春の息吹を感じる。

③ 汗が滴る暑さだ。

④ 人間の尊厳を冒す。

⑤ 資源開発の一翼を担う。

⑥ ツウカイな出来事。

⑦ キヌ織物を扱う店。

⑧ 公園のテツボウで遊ぶ。

⑨ ランパクを泡立てる。

⑩ ナミキ道を歩いた。

【四】 今年度、滋賀県で国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会が開催され、県外から多くの人を迎え入れることになり、「おもてなし」という言葉が注目されました。あなたの考える「おもてなし」には、どのようなことが大切だと思いますか。その理由も含めて百字以上百二十字以内で書きなさい。